

# もちつき大会から

# 多文化共生の取り組み・まちづくり



福祉



子ども



文化芸術



防災

つながる笑顔 広がる多文化  
もちつきで始めるやさしいまちづくり

## 課題

### 親しみを深める場が必要

むつみ台団地では、外国籍住民が増える中で文化や言葉の壁があり、挨拶や交流が進みにくい状況です。生活習慣の違いからゴミ出しなどのルール理解にも課題があり、地域で親しみを深める機会が不足しています。顔見知りになり、気軽に話せる関係づくりが求められています。

## アイデア

### 行事をきっかけに自然な交流を

恒例行事のもちつき大会をきっかけに、外国籍住民と日本人住民と一緒に楽しめる場を設けます。英語や中国語で翻訳した案内チラシを配布し、写真展示や遊び道具紹介で文化を共有。くじ引きや食事を通じて自然な交流を促し、今後は各国の食文化紹介イベントへ発展させます。



## 実施団体

### むつみ台団地自治会

むつみ台団地自治会は、居住者の生活環境の向上と親睦、福祉の増進を目的とする地域組織です。自主的な民主団体として、生活環境整備や文化活動、交流イベントを企画し、安心して暮らせる団地づくりを進めています。近年では特に、地域との協力を重視して活動しています。

### 交流の場づくり

### URコミュニティ東京北住まいセンター

UR賃貸住宅の管理・運営を担う地域拠点です。住民の安心・快適な暮らしを支えるため、建物の維持管理に加え、コミュニティ形成や防災活動の支援にも取り組んでいます。むつみ台団地では、外国籍住民向けのチラシ作成の協力、イベント準備のサポートを通じて、地域の多文化共生と交流促進に貢献しています。

### 情報提供・運営サポート



## スケジュール

～4月

8月～

11月

12月

1月

### 企画検討

### 調査活動

### 協力依頼

### 準備

### もちつき大会

- ・目的、テーマ決定
- ・連携団体打合せ
- ・実施計画検討
- ・役員会での承認

- ・ヒアリング票作成
- ・外国籍住民の要望収集（自治委員協力）
- ・訪問ヒアリング

- ・翻訳チラシ作成
- ・スタッフ募集
- ・防災会協力
- ・当日運営計画

- ・チラシの印刷、配布
- ・食材機材の手配
- ・会場レイアウト検討
- ・景品の準備

- ・もち米蒸し、調理
- ・受付案内
- ・もちつき体験
- ・歓談

# 実施内容

## 声かけ 翻訳チラシで参加を促進

8月から外国籍住民に向け、各フロアの自治委員を通じて要望を収集。10月には再度訪問し、イベント参加への打診と協力者募集を行いました。

案内チラシは英語・中国語に翻訳し、広報紙やポスターで周知。防災会にも協力を依頼し、もちつき機や臼、食材を手配。前日には、持ち帰り用の餅や食材の準備、会場設営など役員を中心に体制を整えました。



## 笑顔と歓声が広がる 団地の新春もちつき

1月11日(日)、むつみ台団地集会所前広場で新春もちつき大会を開催。子どもたちが小さな杵を手元で元気よく餅をつき、大人は大きな杵で力強く参加。お汁粉や豚汁もふるまわれたほか、持ち帰り用の餅は「外はカリッと、中はとろりとして美味しい」と好評でした。



事前に声をかけたことで、キルギス、バングラデシュ、中国などの多様な国籍の住民の参加が増加し、周囲と自然に会話を交わしました。



会場には羽子板や凧の展示が並び、団地内の公園で遊ぶ子どもを見守りながらくつろいでいるお年寄りの様子も見られるなど、親子連れから高齢者まで幅広い世代が集い、国籍や言語を超えて自然な交流が生まれました。

## 事業の成果・今後の展開

## 挨拶と会話が生まれた

もちつき大会を通じて、外国籍住民と日本人住民が一緒に楽しみながら交流し、顔見知りが増えました。言葉の壁を越えて笑顔や会話が生まれ、地域の雰囲気明るくなりました。準備や運営に協力する人も現れ、自治会活動への関心が高まりも感じています。

今後は、各国の食文化や生活習慣を紹介するイベントを継続開催し、多文化共生を深めます。さらに、生活ルールや防災などの情報共有を進め、外国籍住民が安心して暮らせる環境づくりを目指します。

